

峰のかがやき

2023 -第8号-



笑



【発行・編集】

秋田市浜田字陳ヶ原15—8

盲養護老人ホーム 松峰園



みんなでお散歩



体力作り



縁日の売店



七夕



笹巻作り



編集
後記

峰のかがやき第8号をお読みいただきありがとうございます。今回は5月から8月にかけて、施設での行事の様子を掲載させていただきました。

新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが、季節性インフルエンザと同じ5類に移行し、様々なイベントも再開されましたが、感染拡大の波は何度も押し寄せてきています。

今後も施設内での感染症対策を徹底して行っていきます。

夏祭り



ビールと枝豆にご満悦。



お土産にお菓子の掴み取り。



余興のカラオケも♪



たまにはカップめんも美味しいです。



今回の「峰のかがやき」の作成にあたり、視覚障害（全盲）のある利用者様にお話を伺うことができましたので紹介させていただきます。

（H・S様 男性 79歳）

私は中学生の時に先天性の病気で失明しました。

盲学校の寮に入って7年間、鍼灸の勉強をしました。資格を取って他県で就職しましたが、仕事が思うようにまわらず厳しさを実感。ほとんどが出張で、現場までは送ってくれるが、帰りは一人で帰らなければなりませんでした。

秋田に戻り、知り合いのつてで1年ほど勤め、地元で開業。その後、場所は変わりましたが、施設に入所するまで50年ほど治療院を運営してきました。

妻とは親戚の紹介でお見合いをし、今に至ります。

自身の人生を振り返ると、障がい者が世の中で生きていく事は、当事者でなければわからない苦労が多く、半端でなく大変であったと感じています。

お話ありがとうございました。

「当事者でなければわからない」とのお言葉に、ご苦労されたことをあらためて実感いたしました。

（記事にするにあたり、プライバシーの配慮等から要約・編集をさせていただいております。）